



## 最近のロータリーの変化

[基本概念の変化と今後の方向性]  
[刀根荘兵衛]  
[2015年8月22日]



## ロータリーの基本概念の変化



### ロータリーの定式幕

#### 中澤ガバナーの地区研修・協議会でのお話

伝統の歌舞伎の世界でも、時代に応じて大きな変化を遂げて今日に至っている。

しかし、唯一、変わらないものは三色の『定式幕』

**ロータリーの定式幕は何だろう？**



### 重要なロータリーの基本概念

1. 会員資格と職業分類  
(厳しい会員資格・一人一業種)
2. 例会のあり方  
(毎週一回の例会)
3. クラブの種類・形態  
(クラブの形態は統一)
4. 職業奉仕理念の変化  
(職業奉仕は金看板)



### RIにどんな変化が

会員資格と職業分類	例会のあり方	クラブの多様化	職業奉仕理念の変化
一人一業種	毎週一回の例会	統一した形態	職業倫理道德向上
会員資格の変更 様々な会員資格 ボランティアのリーダー 退職者 財団学友 主婦・主夫 同一職業 5名 (10%) 職業分類の細分化	出席要件の変更 (専任活動参加) 試験的プログラム 革新性と柔軟性のあるクラブ 様々な例会の開催 出席から参加へ	Eクラブ 衛星クラブ 試験的プログラム 革新性と柔軟性のあるクラブ 様々なクラブ形態	グローバルワード [会員特典プログラム] 互惠取引の推奨 ロータリーの目的 (綱領)変更 (付帯条項の追加) 利他行動・・・ サービス理念の根 底には道徳性



### ご説明の流れ

1. 2013年規定審議会での決定とその後の理事会決定
2. 将来に向けての展望



## 会員資格と職業分類



### 一人一業種制度 … ポール・ハリスの思案

#### 同業者排除

職業が違うので同業間の嫉妬心が起きない

開放的になり親睦がうまくいく

会員相互の助け合いが促進

自分の職業に品位と誇りを感じる

他の職業の業績や問題点について認識が高まる



### 職業分類の変化

～1963年

従来は、RIが職業分類表を作成

1963年 RI職業分類発行中止

クラブの自由裁量

2001年 規定審議会

50名以下5名以内

51名以上10% 同一職業分類可

職業分類の細分化が進む



### 会員資格と職業分類

2013年4月 規定審議会

・ 仕事をしたことのない人、または仕事中断している人を正会員と認める。(主婦・主夫もOK)

2013年10月理事会

試験的プログラム (2017年6月まで延期)

**法人会員、準会員、衛星クラブ、革新柔軟性**

法人会員 : 法人会員企業が地元ロータリークラブと提携し、正会員として従業員4人までを指定

準会員 : 正会員に与えられるすべての権利と義務を持たない仮会員となる



### 会員資格と職業分類

2014年10月理事会 ロータリー学友を新設  
(米山等も含めて、ロータリープログラムの過去の参加者すべて)

インターアクト  
ロータリーアクト  
ロータリー青少年交換  
ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)  
ロータリー平和フェローシップ  
グローバル補助金奨学生  
職業研修チーム(VTT)のメンバーまたはリーダー  
地区補助金奨学生  
新世代交換  
以前のTRFプログラムにおけるロータリー財団奨学生  
- 国際観音奨学金  
- 大学教員のための補助金  
- 研究グループ交換(GSE)のメンバーまたはリーダー  
- ロータリーボランティア



### 会員資格 RI定款第5条第2節

第2節 - クラブの構成

(a) クラブは、**善良な成人**であり、職業上および(または)地域社会で**良い評判を受けている以下のような正会員**によって構成されるものとする。

(1) 一般に認められた**有益な事業や専門職務の所有者、共同経営者(パートナー)、法人役員、支配人の**いずれかであること。または、

(2) 一般に認められた**有益な事業や専門職務ある**いはその**地方代理店や支店において、裁量の権限ある管理職**を務め重要な地位にあること。



### 会員資格 RI定款第5条第2節

- (3) 本節(a)の上記(1)または(2)に挙げたいずれかの地位から退職していること。
- (4) 地域社会の活動に自ら参加することによって、奉仕およびロータリーの目的への献身を示した地域社会のリーダーであること。
- (5) 理事会によって定義されているロータリー財団学友であること。
- (6) 子どもの世話または配偶者の仕事の手伝いのために仕事を中断した人、または同じ理由のために仕事をすることがない人であること。



### これからの会員資格と職業分類

2016年規定審議会 提出立法案(RI理事会)クラブは、この定款の第5条第2節(a)および(b)に合致しない会員身分に関する規定を採用することができる。この規定は定款の上記節の規定に優先するものである。(RI定款第5条会員 クラブ構成)

#### 独自の会員資格

- ローターアクトをロータリアンにする、あるいは
- ローターアクトクラブと言うロータリークラブ
- ロータリー学友を正会員に



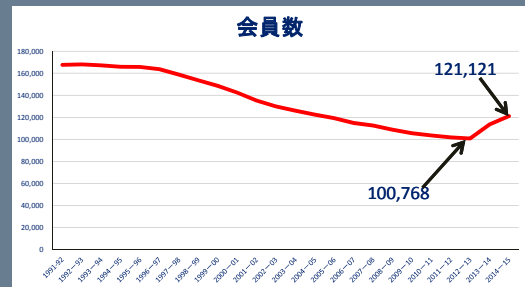
### ライオンズの例

#### 様々な会員オプション

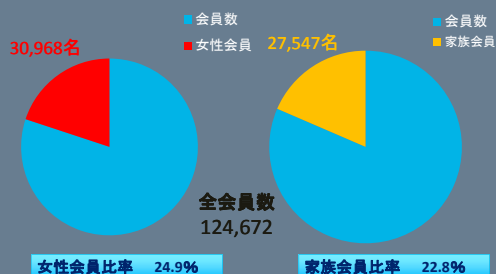
1. 家族会員 国際会費半額 \$21.5  
最高家族3人まで (RI \$55)
2. 学生会員 30歳まで 会費半額 \$21.5
3. レオ・ライオン会員 レオクラブ在籍/元  
30歳まで 会費半額 \$21.5
4. 元レオ会員 30歳以上 入会金免除など



### 日本のライオンズの会員数



### 日本のライオンズの会員構成比較 2014~15年度



## 例会のあり方



## 例会のあり方

2013年規定審議会

- クラブの奉仕活動参加を出席要件に含む。  
(その他のイベント/活動も含む、半期に12時間)
- 例会回数削減案はすべて否決  
(1カ月2回、隔週など)

例会頻度試験的プロジェクト 2007～2013年  
試験に参加しているクラブが週一回と言う例会  
頻度を変更し、その影響を調べる



## 第9条出席 第12条会員身分の存続

第1節 一般規定。各会員は本クラブの例会に出席し、**本クラブの奉仕プロジェクトおよびその他の行事や活動**に参加すべきものとする。

第12条 第4節 終結 欠席。

(a) 出席率。会員は、

(1) 年度の各半期間において、メイクアップを含むクラブ例会出席率が少なくとも50パーセントに達しているか、**クラブのプロジェクトおよびその他の行事や活動に少なくとも12時間参加していなければならない。または、バランスの取れた割合でその両方を満たしていなければならない。**

(2) 年度の各半期間に開かれた、本クラブの例会総数のうち少なくとも30パーセントに出席、**またはクラブのプロジェクトおよびその他の行事や活動に参加しなければならない**



## 制定案13-12 出席規定に奉仕の要件を含めるよう改正する件

提案者: Norwoodロータリークラブ(オーストラリア, S.A.)

修正採択AA 340(賛成):165(反対)

若い会員候補者は、「超我の奉仕」に熱意を抱いており、特に人道的分野を中心とした奉仕活動に積極的に参加したいと望んでいる。**費用のかかる、改まった例会に出席するよりも、プロジェクトへの参加を通じて、ほかのロータリアンと交流することができ、ネットワーク作りのニーズも満たされる。若い世代は、従来のクラブ例会だけが重要とは考えていない。**

12時間の奉仕は、例会への50%出席に相当する



## 例会のあり方

2013年10月理事会

革新性と柔軟性のあるクラブの試験的プログラム  
第2期 2014年～17年度 まで延期

(第1期 2011年7月～2014年6月)

2013年規定審議会

**試験的クラブ200から1000クラブにまで増加**  
日本でも各ゾーンに1RC 革新性の柔軟性のある  
試験的プログラムに参加

吉川RC 2770地区、東京赤坂RC 2750  
さかいフェニックス 2640地区



## RIの試験的プログラムの方針

革新性と柔軟性のあるロータリークラブは、  
「楽しい」「ダイナミック」「快活」「寛容」  
「新しいことに挑戦する」「積極的」「会員主導」  
「結果重視」「意欲を刺激する」  
「人と人とのつながりを広げる」

といった言葉で形容されます。

このようなクラブは、公共イメージと認識を高める  
ことができます。



## 革新性と柔軟性のあるロータリークラブの運営

標準ロータリークラブ定款とクラブ細則の変更して、

- ・ 会員と地域のニーズに適った独自の運営方法
- ・ 例会の異なる実施方法や内容
- ・ クラブのリーダーや監督の改善
- ・ 会員や地域のニーズに適った**独自の会員資格と要件**
- ・ 例会の出席率から**会員の参加**へと焦点を移す



## これからの方向（例会のあり方）

2016年規定審議会 RI理事会より提出予定  
クラブ例会や出席に関してクラブに柔軟性を認める件 標準RC定款6条、7条 **例会開催や出席に関する例外規定**を設ける

**参加型クラブ 例会出席から参加へ**

罰金の徴収、合唱、家族・私的・仕事上の理由で例会を欠席することへの否定的なイメージの改善



## 考えられる様々なタイプの例会

- 伝統的な例会とネット例会の融合
- 衛星例会(会合)  
(同じ週に何箇所かで例会を開催する)
- 奉仕活動のみの例会
- 毎回違った場所、時間での例会



## クラブの多様性



## クラブの多様性(様々な形態)

### 2013年規定審議会

- **衛星クラブ**を認める。(独立するまでの間)
- 各地区における**Eクラブの制限数**をなくす。
- **試験的プログラム**の参加クラブ数を**200から1000クラブ**まで拡大

### 2013年10月理事会

試験的プログラムの延長 衛星クラブなど  
2017年6月まで(第2期の試験的期間)



## Eクラブ・衛星クラブの現状

日本では 11Eクラブ

今後の各地区で創立の動き

世界では 約300のEクラブ

世界の約9%がEクラブ

衛星クラブ(2013年COL)

東京多摩せいせき衛星クラブ D2750

試験的衛星プログラム 世界 123衛星C

名古屋城北ロータリー衛星C D2760



## 堀場雅夫様の日本ロータリーEクラブ2650 メークアップ投稿内容

所属クラブ…京都ロータリークラブ 2015年7月6日 15:00

- 2015-16年度初例会のご開催、誠にありがとうございます。阿瀬井 佳一会長はじめ会員の皆様、今年度も宜しくお願い致します。さて、今年度、K.R.ラビンドランRI会長は、「世界へのプレゼントになろう」というテーマを掲げていらっしゃいます。毎日小さなプレゼントでも結構ですので、何か一つでもプレゼントを自分から外へ発信することを心がけることを目標に日々活動して参りましょう。私はこの目標を、今年度の個人的テーマと致します。
- **日本ロータリーEクラブ2650はこのプレゼンターにもっとも適しているのではないかと私は思っております。是非他クラブもこれを見習って頑張ってください。**
- また、RI基本理念を踏まえ、今年度日本ロータリーEクラブ2650は「ロータリー理念を大切に、誇り高いEクラブを！」をクラブテーマとされております。
- 会長の時間でも仰っていますが、**会員の皆様**が日本初のEクラブとしての誇りをそれぞれに持ち、会員同士より一層の懇親を図り、外部への情報発信をも強化させて、『**真のロータリーとは如何にあるべきなのか**』を追求する一年として下さい。



## 今後の方向

2016年規定審議会 RI理事会提出予定

標準RC定款6条、7条 例会開催や出席に関する  
例外規定を設ける(クラブ細則で自由に規定)

参加型クラブ 革新性と柔軟性のクラブ

2500地区等、世界各地区からの提出予定

Eクラブとの融合クラブ

恒久的な衛星クラブ、衛星例会



## 職業奉仕理念の変化



## 会員特典カードの新設 グローバルリワード

### 会員特典新プログラム(2015年7月より)

- このプログラムでは、さまざまな商品やサービスに対する割引やポイントが参加ロータリアンに提供されます。
- プログラム開始の時点では、レンタカー、ホテル、レストラン、エンターテイメントなどの割引がご利用いただけます。今後、世界中で利用できるさらに多くの特典が追加されていく予定です。
- このプログラムはウェブサイトの会員コーナーからご利用いただけます



## 行動規範の変更と会員特典カード

2014年10月理事会決定

ラビンドランRI会長エレクト(当時)の発案による**会員特典プログラムの導入決定(現 ロータリーグローバル・リワード)**により、行動規範の一部がこのラビンドラン氏の提案と矛盾するという理由で、**急速、5項目が削除され、4項目に簡素化された。**



## 行動規範の変更

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。

事業や職業における特典を、ほかのロータリアンに求めない。



## 初期のロータリー

親睦・友愛  
(友人作り)

+

会員の相互扶助  
(事実上の利益促進)

利己的な目的

サービス(奉仕)の概念全くなし



### ドナルド・カーター事件

会員以外の人々に何らかの利益をもたらすことを考えるべきであって、市民に対する何らかの奉仕をする必要があります。  
ドナルド・カーター

↓

それならばぜひクラブに入会して、あなたが考えているように定款を変えてください。  
フレデリック・ツイード

↓

分かりました。あなたの言うとおりにしましょう。  
ドナルド・カーター

Rotary

### 公衆便所設置活動 Public Comfort Station

第3節シカゴ市の最大の利益を促進し、忠誠心を市民の間に広げること。

↓

フレデリック・ツイードが市役所と図書館のビルの公衆便所設置活動提案

↓

カーターはそれをクラブに提案して、公衆便所委員会が設けられ、結果的に委員長に就任しました

↓

ドナルド・カーターとシカゴクラブの活動の結果、市によって、市役所と図書館ビルに公衆便所が建設されました

Rotary **最初の社会奉仕活動**



### 行動規範の変更の懸念

- ▶ この消された5項目は、『**事業や職業における特典を、ほかのロータリアンに求めない**』ということであったが、これを削除することは、会員の互惠取引を認めることに繋がり、初期ロータリーでこれを明確に否定したドナルド・カーターの指摘する『**利己的組織**』に逆戻りする懸念がある。
- ▶ 他人に対するサービスよりもまず、ロータリアン同士の利益・特典を優先させることであれば、ロータリーの奉仕理念の変更にも繋がる可能性がある。

Rotary

### 行動規範第5項目

- ▶ シェルドンの奉仕理念の定義  
『最もよく奉仕するもの最も多く報いられる』のモットーに基づいて発表された、**道徳律(1915年)**に規程されている言葉。
- ▶ その後、道徳律の新たな形として、**規定審議会**で採択された**ロータリアンの職業宣言(1989年)**に引き継がれた項目。
- ▶ 2011年RI理事会によって**改訂された『ロータリー行動規範』**にも引き継がれている奉仕の原則。

Rotary **職業奉仕理念変更に関わる可能性?**

### ロータリーの目的の変更案 (RI理事会提出予定)

2013年規定審議会理事会付託を受けて、RI理事会は2016年規定審議会に提出予定

**ロータリーの目的(Object of Rotary)の、付帯条項に青少年を追加する。**  
(ロータリーの目的の付帯条項を5つにする)

このような決定は、ロータリーの基本理念を変質させてしまうことに繋がる懸念があるかもしれない。

Rotary



### ロータリーの目的(Object of Rotary)の変更提案

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること
- 第5 奉仕、メンターシップ、国際的交流、リーダーシップ開発の機会を通じて世界のリーダーとなる新世代の力を発揮させること；



### ロータリーの目的の変更についての懸念

- ロータリーの目的の付帯条項が、どんどん増えてくる可能性。職業奉仕の考えやロータリーの理念が変質する危険性の懸念。
- ロータリーの目的は四大奉仕部門を説明するものではない。**目的 = 五大奉仕部門ではない。**
- このままでは、ロータリーの目的の付帯事項がどんどん増えていき、6つも7つにもなるかもしれない。たとえば、6つの重点分野が加えられたりするかもしれない。
- (母子の健康、紛争予防、水と保健衛生、、、)



### ロータリーの目的の変更についての懸念

- これでは、益々ロータリーの職業奉仕が多数の項目の中に埋もれてしまう懸念がある。
- ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むこと
- ロータリーの目的は一つであり、後の付帯条項を削除しても、これを強調した方が良いのでは？ 目的ではなく、むしろミッションとすべきでは？
- 



### 今後の職業奉仕に関するRIの方向性

- 職業を使ったボランティアの強調(若者への支援)
- 会員の互惠取引とそれによる会員増強
- 若い世代へのロータリーメリットの提案
- 初期ロータリーの職業奉仕論の衰退？

**日本から新しい職業奉仕理念を発信  
ロータリーの目的を明確化の提言**



### 各ゾーンのロータリー研究会で議論 RI理事会

ロータリー章典60.050.に従い、投票する代表議員が自分の地域のロータリアンの考えを聞く機会を得るために、2015～16年度ロータリー研究会の招集者に2016年規定審議会で考えられる次の立法案の中身を議論するための全体セッションを予定するように要請する。



### ロータリー研究会、全体セッションでの議論項目

- RI会員増強委員会の設置の件
- ロータリーの目的に、青少年の奉仕とリーダーシップ開発を含む第5項目を加える件
- 戦略計画委員会への委託事項を改正する件
- 訴訟関連行為によって、クラブの保留または終結する権限をRI理事会に与える件
- クラブ例会および出席に対する柔軟性を認める件
- 会員の種類に柔軟性を認める件
- クラブが支払う人頭分担金を最低10名とする件





## まとめ

これから起こるかもしれない変化にただ流されるのではなく、クラブ自身がきちんとしたアイデンティティーを持って、自らが変化を起こす気構えが必要であるということ。

(変化に流されずに、自らが流れを創ること)

**クラブに個性と憧れを！**



## まとめ

会員の種類やクラブの形態などの変化は、クラブの裁量権の範囲であり、クラブが誰を入会させるか、どのような例会を持つかなどは、クラブの自主性、個性の問題である。

クラブが主役であり、どんなクラブを創るかは、クラブの未来は会員一人ひとりの熱い想いの中にあるということ。

**未来は一人ひとりのクラブ会員の手の中にある**



**クラブに「個性」と「憧れ」を！**



**ご清聴有難うございました**



[スライドのタイトル]

[追加し]  
\* [箇条書き]



**追加説明(歴史的経緯)**



## 会員資格と職業分類



### 会員資格の歴史的経緯

#### 会員資格の経緯

- 1915年 アディショナル会員
- 1930年 パストサービス会員
- 1939年 シニアアクティブ会員
- 1970年 シニアアクティブ会員自動化(15年)  
この段階で、同業種が7名まで実質可
- 2001年 正会員と名誉会員のみ  
退職者も継続して会員資格  
(職業分類を維持)



### 会員資格と職業分類

- 2007年 規定審議会  
財団学友を正会員
- 地域社会の活動参加者正会員
- 2013年 規定審議会  
仕事をしたことのない人、または仕事を中断している人を正会員と認める。  
(主婦・主夫もOK)  
職業分類は 専業主婦(主夫)  
Stay-at-home parent Homemaker



### 職業分類の歴史的経緯

#### 職業分類の経過

- それまではRIが職業分類表を作成
- 1963年 RI職業分類発行中止  
クラブの自由裁量
- 2001年 規定審議会  
50名以下5名以内  
51名以上10% 同一職業分類可  
職業分類の細分化が進む



## 例会のあり方



### 例会のあり方 歴史的経緯

- 1905年 シカゴクラブの創立当初は2週間に1回。(東京クラブは月に1回)  
4回連続欠席は退会(第3回目例会)
- 1921年 1週間に1回と定められ、それ以降のRCはそれを遵守。  
メイクアップ制度 (同じ週のみ)  
半期60%の例会出席義務
- 1972年 ヒューストン国際大会  
メイクアップ期間を直前のクラブ例会時刻から直後のクラブ例会の時刻まで



### 例会のあり方 歴史的経緯

- 1983年 トロント規定審議会  
例会に充当された時間の少なくとも  
60%を出席しないと欠席
- 1989年 シンガポール規定審議会  
クラブ理事会の裁量で、1年度に2回  
までクラブ例会を取りやめ可
- 1992年 アナハイム規定審議会
- 3回以上連続して例会を開催しない  
ことを禁止



### 例会のあり方 歴史的経緯

- 1995年からカラカス規定審議会  
メイクアップ期間延長、例会の前後14日
- 2001年シカゴ規定審議会  
理事会裁量で年4回まで例会取り止め  
クラブがスポンサーした地域社会における  
行事や会合、または理事会が承認し指定  
した奉仕委員会会合への出席、もしくは  
クラブ理事会への出席を例会出席と認める



### 例会のあり方 歴史的経緯

- 2004年シカゴ規定審議会  
ウェブ会合に30分間参加した場合、  
ロータリー親睦活動への出席を例会出席
- 2007年シカゴ規定審議会  
年度の半期ごとに、例会の50%に出席義務
- 2007年～2013年  
例会頻度の試験的プログラム  
試験に参加しているクラブが週一回と言う例会頻  
度を変更し、その影響を調べる



## クラブの多様性



### クラブのあり方 歴史的経緯

- 2001年 規定審議会  
区域限界(Territory)という概念が廃止され  
周辺地域(Locality)に変更された。  
試験的プロジェクトの承認
- 2001年9月 理事会  
Eクラブ(サイバークラブ)を20クラブを限度として  
認める試験的プロジェクトを許可する。
- 2002年1月 世界初のEクラブ誕生  
(Rotary E-Club One-D5450 誕生)



### クラブのあり方 歴史的経緯

- 2004年6月 規定審議会  
Eクラブへのメイクアップ可能  
クラブの合併を認めることにした  
(それまでは解散して新クラブを創立)
- 2007年4月 規定審議会  
Eクラブの廃止  
Eクラブへのメイクアップを認めない  
等の提案すべて否決



## クラブのあり方 歴史的経緯

- 2010年4月 規定審議会  
1地区2つまでEクラブ設立を認める(修正)
- 2010年11月 RI理事会  
4つの試験的プログラム  
準会員、法人会員、革新性と柔軟性のある  
クラブ、**衛星クラブ**  
第1期 2011年7月～2014年6月
- 2013年10月理事会  
第2期まで延期 2014年7月～17年6月



# 職業奉仕



## 職業奉仕理念の歴史

- 1910年に開催された全米ロータリークラブ連合会で初めて発表されたシェルドンの奉仕理念の定義(『最もよく奉仕するもの最も多く報いられる』のモットー)に始まり、その後、様々な変遷を経て現在に至っています。
- 1915年**道徳律が発表され**、それぞれの業界や企業に140以上の道徳律が作られました。
- 1927年にはイギリスから四大奉仕の基礎となる目標設定プランが提案されました。職業奉仕(Vocational service)という言葉が使用



## 職業奉仕理念の歴史

- 1932年にはハーバード・テラーによる有名な四つのテストが発表され、
- 1936年には格調高い大連宣言が採択されるなど、倫理道徳運動は最盛期を迎えました。
- 1951年には道徳律そのものが廃止されるに至りました。(36年間の空白期間を経て)
- 1987年にRI理事会から職業奉仕に関する声明が発表されました。
- 1989年には道徳律の新たな形として、**ロータリアンの職業宣言が規定審議会**で採択されました



## 職業奉仕理念の歴史

- 1987年に発表された新しい職業奉仕声明の出現により、初期の職業奉仕理念は大きく変貌し、職業奉仕は**クラブと会員個人の責務と定義**されることとなりました。
- 2011年には理事会は、RI理事会は『**ロータリアンの職業宣言**』を修正して、**新たに8項目からなる『ロータリー行動規範』**を創設しました。



## 職業奉仕理念の歴史

- さらに、2014年1月理事会において、**2013年規定審議会**で採択され決議案(ロータリアンの目的の第2項目を職業奉仕の基本理念として採択すること)を受けて、理事会は職業奉仕に関する指針およびロータリー行動規範を改訂しました。行動規範は5項目に簡素化されました。
- 更に2014年10月において、会員特典プログラムの導入決定により、行動規範の一部がこのラビンドラン氏の提案と矛盾すると言う理由で、**第5項目目が削除され、4項目に簡素化された。**

